

自主山行

比良山系 テント泊縦走トレーニング

とき	: 2021年7月22日、23日	天候	: 快晴	メンバー	: 2名(男性2名)
コース	:(1日目) JR宝塚駅-JR堅田駅-平バス停-権現山-蓬萊山-打見山-葛川越-金糞峠-八雲ヶ原				
	:(2日目) 八雲ヶ原-武奈ヶ岳-釣瓶岳-蛇谷ヶ峰-朽木温泉-JR安曇川駅-JR宝塚駅				

歩くペース **0.7~0.8 (速い)**

※ヤマブラ掲載の「山と高原地図」標準コースタイムを「1.0」としたときの倍率(全コースのうち73%の区間で比較) [\[注意事項\]](#)

コースタイム [\[注\]](#)

表示切替:

1日目 山行 6時間11分 休憩 1時間13分 合計 **7時間24分**

S 平バス停 09:30 10:22 アラキ峠 11:16 権現山 11:40 ホッケ山 11:41 12:00 小女郎峠 12:09

12:34 蓬萊山 12:58 13:10 レストランバードキャッスル 13:17 13:24 打見山 13:35 木戸峠 13:39

14:11 比良岳道標 14:12 14:22 葛川越 14:30 14:47 鳥谷山 14:59 15:20 荒川峠 15:21

15:35 南比良峠 15:36 16:00 東し新道分岐 16:01 16:20 金糞峠 16:22 16:24 金糞峠西側下の分岐 16:25

16:38 RP八雲1 16:53 八雲ヶ原 16:54 16:54 宿泊地 **泊**

2日目 山行 6時間45分 休憩 1時間9分 合計 **7時間54分**

泊 宿泊地 07:11 07:26 イブルキノコバ 08:01 コヤマノ分岐 08:02 08:14 武奈ヶ岳 08:24

08:31 細川尾根分岐 08:32 08:49 細川越 08:50 09:13 釣瓶岳 09:28 09:50 イクワタ峠 09:57

10:33 地蔵山 10:34 10:54 地蔵峠 10:55 11:26 ココタニ峠 11:27 11:59 ホボフダ峠 12:06

12:18 滝谷ノ頭 12:19 13:25 蛇谷ヶ峰 13:38 13:41 866m分岐 13:42 13:46 カツラの谷分岐

13:57 670m点ベンチ 14:18 釜の谷分岐 14:19 14:32 釜の谷 14:39 14:52 釜の谷登山口 14:53

15:05 ゴール地点 **G**

活動記録

体力とテント泊の訓練のため、比良山系の縦走にチャレンジ。個人テントでのテント泊は初めて、本格的な縦走も初めてでしたが、終始パートナーに助けられ、何とか最後まで完走できました。

今回の山行では給水の大切さを知り、また荷物の軽量化の大切さを痛感しました。

日帰りの山行ばかりでは気づかない視点なので、これからも鍛錬を重ねていきたいと思います。



平バス停に向かう江若交通のバスから1枚。

これから登る比良山系がよく見えました。

【一日目】



← 平バス停

バス停を降りた後、逆方向に登山口迄戻ります。対向車が怖い。

登山口 →

「鯖街道」の文字が見えます。



権現山の頂上。

山頂からは琵琶湖は一望できました。京都や丹波の山々も良く見えて、ここまでの辛かった急登をしばし忘れさせてくれました。



小女郎峠から望む蓬莱山。

たくさんのハイカーが行き来していました。頂上にはロープウェイの建物があり、遠くからでも良く見えます。



蓬莱山頂上。

多くの人で賑わっていました。一等三角点もあり。



蓬莱山→打見山→葛川越→鳥谷山

打見山からはスキーゲレンデを通り、木戸峠へ。比良岳の右手を通過して葛川越へ到達。

ここらの鳥谷山山頂への急登は、道も悪く、本当に大変でした。しかしまだ笑う余裕あり。



金糞峠を経て八雲ヶ原到着。

テントを張り、夕食。楽しいひと時。夜には満月が出て、八雲ヶ原は幻想的な景色でした。

【二日目】



武奈ヶ岳山頂。

360度の視界があり、遠く岐阜県の山々も見えました。



山頂からはこれから向かう釣瓶岳、蛇谷ヶ峰が一望できました。



釣瓶岳山頂。

武奈ヶ岳から少し下ります。この頃にはだんだん下りも辛くなり、パートナーに遅れていきます。



釣瓶岳↓地蔵山



地蔵峠、横谷峠

ようやく横谷峠に到達。まだまだ元気なパートナーと異なり、へろへろな状態で、登りでは10歩進んでは立ち止まるような状況でした・・・。



蛇谷ヶ峰到着。

パートナーの背中を追うだけで精一杯の急登を何とか登り切り、頂上へ到達しました。

頂上からはリトル比良もよく見え、いつか挑戦したいと思いました。



朽木温泉

最後は温泉に入り、2日分の汗を流して帰りました。

蛇谷ヶ峰には天狗の森があるそうです。

<最後に>

今回はトレーニングのつもりで重い加重（19キロ）を背負いましたが、この暑さと初めてのコース、縦走ということで、体がついていきませんでした。また水分の量、行動食の選択を間違え、パートナーに助けをもらい、完走できました。次に繋がる、よい経験になりました。